

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年10月10日（水）

2 確認項目

1・2号機排気筒周辺の地盤改良工事について

3 確認結果の概要

建屋への地下水流入量を抑制するため、サブドレンの設定水位を下げて運用していたところ、1・2号山側サブドレンの一部について、昨年夏頃からトリチウム濃度の一時的上昇が確認されている。1・2号排気筒のドレンサンプピットからトリチウムが移流・拡散していると想定され、その対策のため排気筒周辺の地盤改良工事が実施されていることから、工事について東京電力から聴取した。

- ・地中に水ガラスを一定の間隔で注入していき、トリチウムが周辺へ移流・拡散することを防止する目的で実施する。
- ・工事対象範囲は1・2号機排気筒の北側と南側。
- ・平成30年8月6日に準備工事に着手、10月中に水ガラスの注入を開始し、今年度中の完了を予定している。
- ・近傍のサブドレンピットに影響を与えないように、注入圧力や水ガラスが固まる速さを調整しながら施工する。
- ・1・2号排気筒周辺については線量率が高いため、被ばく低減のため衝立遮へい設備を設置する。

4 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、有意な変動は確認されなかった。